## 世界かんがい施設遺産

じゅっこくぼり

## 十石堀

## [茨城県·北茨城市]

- ■台地上の本地域は慢性的な水不 足であった。1669年、沼田主計を 中心として、農民自らが発意・計 画し、約13kmの用水路をわずか 半年間で建設。
- ■水源開発のため、集水域の異なる2つの沢を繋ぐ導水路として造られた「掘割」は、「金掘」(鉱山技術者)の卓越した技術によって、開削された。
- ■沢地形や花崗岩の自然地形を生かし、耐久性に優れ、効率的な維持管理を実現するとともに、農民自らが資材を調達し、建設費用を大幅に縮減。

Jukkoku-bori Irrigation System

農民自らの発意・計画、 自然地形の巧みな利用による持続可能な用水路





当時の建造記録(上)と絵図(下)



自然の地形(花崗岩) を活かした減勢工



地域住民による維持管理の記録